



村上東中学校だより

令和7年4月14発行

令和7年度第1学期始業式校長講話より(一部補足の追加あり)

村上市立村上東中学校 校長 近 貴志

令和7年度が始まりました。3年生は学校のリーダーとして、2年生は3年生に対してフォローとなりますが人生で最も成長する1年を過ごす学年として、1年間頑張りましょう。

今年度も、始業式や全校朝会での校長講話をとおして、「皆さんが幸せな人生を生きるために中学校時代に何をすべきか」ということを、一緒に考えていきたいと思います。

村上東中学校の教育活動で特に力を入れていることは、「自律」と「協働的な学び」です。この2つについて、具体的にどのように取り組むべきかをお話します。

まず「自律」についてです。自律とは、自分を正しくコントロールして、自分の行動を決定し、自分を成長させていくことです。どうすれば自律できるようになるでしょうか。

1年後に、自分はどんな自分になりたいかを考えましょう。3年生の代表生徒は、進学に向けて学習に励むと語ってくれました。3年生は、進学は大きな目標として念頭にあると思います。合格することがゴールではなく、高校でいっそう活躍しようと思っていることでしょう。このように目標がある場合、時間的に逆算して計画を立てると、今何をすべきかが決まってきます。1学期のまとめテストで400点以上をとろうと思えば、今から予習が大切です。1年後の姿から逆算して、短期的に目標を決めて、短期の取組を決めて実行する、この計画と実行を自分で考えてできることが、自律した中学生ということです。学習にしても、社会性を伸ばす活動にしても、「自分は1年後にこのようになろう、これができるようになろう」という理想の姿を自分で決めて取り組みを始めてほしいです。

⇒自律できるためには、まず動機と計画があって、今からすぐに実行することが必要ということです。

未来の社会で求められる活躍する人の資質と、皆さんが「こうなりたい」と思う姿は、必ずマッチすると思います。中学生のときから、そのための努力を始めましょう。

次に、「協働的な学び」についてです。教室全体で知恵を出し合うと、よりよい解や策が得られたり、それに納得できたりすると思います。自分にはなかった視点や解法を他者から学ぶことは、人を成長させます。それ以前に、皆さんは、「ちょっとここがわからないけど、皆の前で先生には聞きにくいし、困ったな」と思ったことはないでしょうか？わかっている友達に聞くとよくわかる、ということを知っている生徒は多いと思います。ぜひ実行しましょう。ここで、もう一つ気づいてほしいことがあります。それは、**協働的な学びは人間関係のスケールを出ない**ということです。相手との関係が良くないと学び合いはできません。大人になっても一緒に良い仕事ができないかもしれません。人は相手の笑顔によってしか幸せをもらえない、という仮定が成り立つとすれば、自分が他者に対して笑顔で(親切に)接しなければ、幸福感はどこにも生じない(=学び合いも成立しない)ということになります。教室は(学校は)、他者に受容的な雰囲気、何を発言しても非難されない、という安心感に満ちた場所であることが大切です(発言が他人の名誉毀損や誹謗中傷でない限り)。

ぜひ、教室を仲間意識のある、安心して発言できる、学び合いができる空間にいっそうしましょう。先生方も、このことについてはいっそう力を入れて取り組む計画が進行中です。

追記 4月7日(今年度初日)の始業式の2, 3年生の話を聞く姿勢、真剣な眼差しに感動しました。今年一年の村上東中学校の前途を象徴しているような気がしました。これは壇上に立たないとわからないと思います。とても嬉しい出来事でした。